

令和8年度
上菅田特別支援学校の学び



横浜市立上菅田特別支援学校

〒 240-0051 横浜市保土ヶ谷区上菅田町 462 番地

電話 (045)382-0420 FAX (045)382-0413

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/ss/kamisugeta/>

本校の概要（沿革）

横浜市で最初に作られた、からだの不自由な児童生徒のための学校です。

昭和49年4月	横浜市立上菅田養護学校開校式 高等部開部（昭和52年）
昭和54年4月	上菅田養護学校中村方面分教室、緑方面分教室設置
昭和57年4月	中村方面分教室、横浜市立中村養護学校として独立
昭和59年4月	緑方面分教室、横浜市立新治養護学校として独立
平成11年4月	高等部中村分教室、北綱島分教室（平成12年）、新治分教室（平成13年）、東俣野分教室（平成15年）を順次設置
平成19年4月	校名を「横浜市立上菅田特別支援学校」と改称
平成23年4月	高等部分教室が自校高等部として独立
平成26年10月	創立40周年記念式典挙行
令和6年10月	創立50周年記念式典挙行

児童生徒数

学部	小学部							中学部				高等部				全校 計
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
人数	10	7	4	3	9	6	39	7	4	8	19	21	12	17	50	108

教職員数

学校長	1	特別支援コーディネーター	1	非常勤講師	7
副校長	2	ICTコーディネーター	1	学校看護師	7
事務長	1	医療的ケアコーディネーター	1	学校司書	1
教務主任	1	進路指導専任	2	職員室アシスタント	1
小学部教員	29	養護教諭	2	スクールカウンセラー	1
中学部教員	16	栄養教諭	1	事務補助	1
高等部教員	36	事務職員	4		
自立活動部教員	7	学校給食調理員	6		
校内教職員 合計 129名					

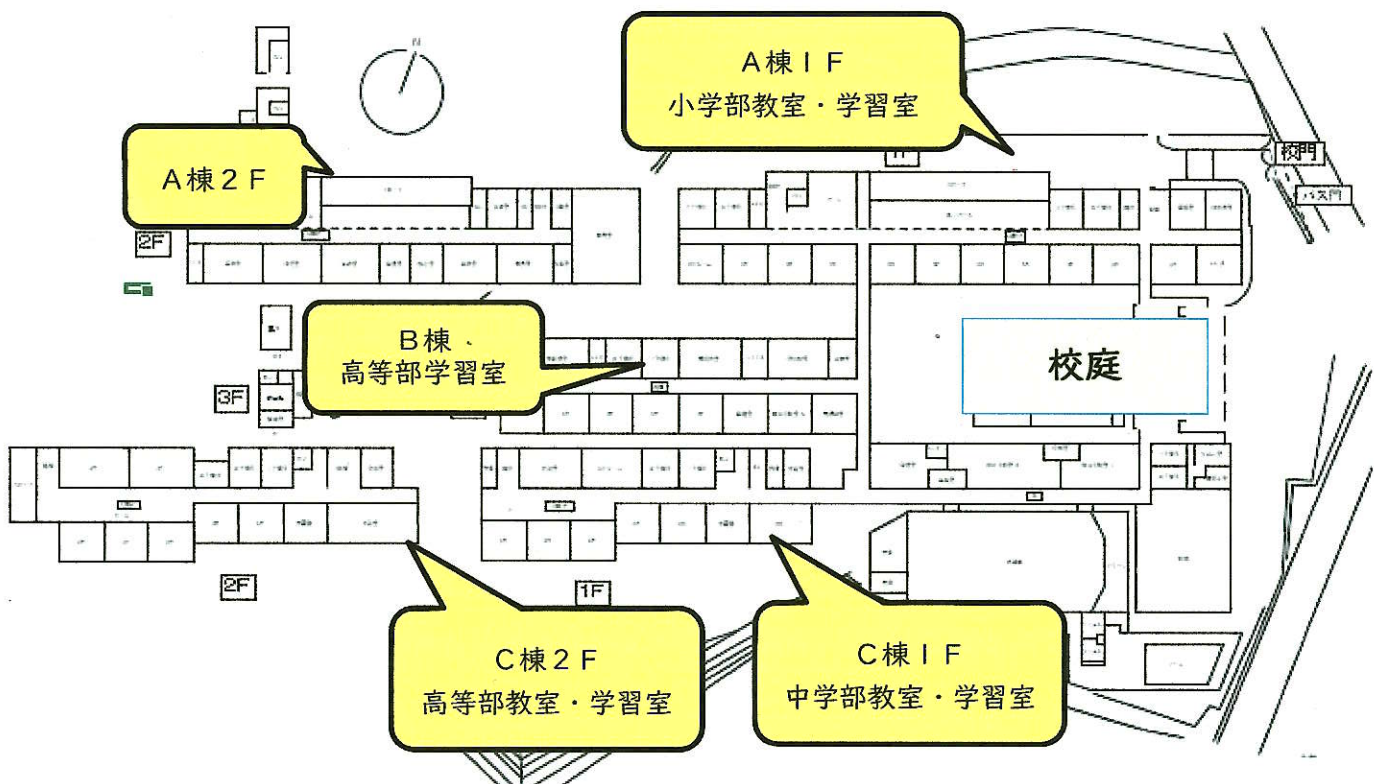
学校医	4	学校薬剤師	1	臨床指導医	7
-----	---	-------	---	-------	---

（令和8年5月1日現在）

主な年間行事予定

月	行事	年間を通して
4	前期始業式・入学式 新入生歓迎会 保護者会 進路面談（高） 避難訓練・防災学習・引き渡し訓練	上菅田タイム 委員会活動（小5～高）
5	職場実習開始 個人面談（家庭訪問）	児童生徒会
6	宿泊学習（高）修学旅行（小・中）	スポーツフェスティバル実行委員会
7	授業参観 入学希望者説明会（高）	学校間交流
9	個人面談 個別進学相談（高）	上菅田笹の丘小（小） 上菅田中（中）
10	前期終業式 後期始業式 総合防災訓練 校外宿泊（高） スポーツフェスティバル	
11	修学旅行（高） 宿泊学習（小・中）	長期休業
12	学習発表会 入学検査（高） オープンスクール（高）	春季休業 4/1～4/6
1	保護者会 個別相談会（中）	夏季休業 7/21～8/26
2	就学面接（小・中） かみすげたマーケット 展示会 卒業を祝う会	冬季休業 12/26～1/6
3	卒業式 新転入生保護者説明会 修了式 離任式	学年末休業 3/26～3/31

校舎平面図





令和8年度上菅田特別支援学校ランドデザイン



本校のまなび

小学部から高等部の学習

児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに即した集団やグループを編成して学習に取り組めます。小学部「知る」中学部「広げる」高等部「深める」を基に日々の授業に加え、外部講師を招いての学習や校外に出での学習等、様々な取組を行います。一人一台端末の良さを最大限に生かし、ICT(タブレット)を活用した学習を進め、コミュニケーションツールとしての活用等も含め、各自のICTに関するスキルの向上を図ります。



自立活動部

本校では横浜市で唯一の自立活動部を設置しています。自立活動室には様々な機器、器具等があります。専属の教員が、全児童生徒に対して運動やコミュニケーション、手指操作などの個々の目標に沿った授業を行っています。また定期的に臨床指導医(リハビリテーション科)や特別支援教育総合センターのPT、OT、ST等から専門的な助言を受ける場を設け、教員向けの研修も行っています。

訪問教育

通学が困難な児童生徒のご家庭等に教員が出向き教育を行います。保護者と相談して、児童生徒の実態に応じて訪問の回数、時間、内容等を定め、学校での授業や行事に参加するスクーリング(学校への登校)も行います。

交流及び共同学習

誰もが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指し、共生社会の一員としての意識を育むことを目標として、副学籍校交流、学校間交流等、様々な形での交流教育を進めています。この学びを通して経験を広げ、社会性を養い、豊かな人間性や互いを尊重し合う大切さを育てています。

縦に横につなぐ多様な活動

上菅田タイム、委員会活動等、小学部から高等部までの全児童生徒が繋がる学びを展開しています。上菅田タイムでは、小学部1年生から高等部3年生をグループに分け、小学部から高等部までが一つになって全校でポッチャ等に取り組みます。

進路支援・キャリア発達支援について

キャリアノート(キャリア・パスポート)を活用し、日々の取組でキャリア発達を促します。小学部から中学部、中学部から高等部への進路支援は、個人面談等を活用し一人ひとりに応じて進めます。高等部卒業後の進路選択と進路先決定については、本人・保護者と共に個人面談や現場実習等を活用し進めます。一人ひとりの進路決定に資するよう、行政・福祉・労働機関等と連携し、組織的に進路支援を行います。

センター的機能と地域との連携・協働

センター的機能として、児童生徒に地域のリソースの情報提供を行うと共に行政、医療、福祉等、様々な関係機関と連携し、児童生徒の地域での生活を支援しています。さらに、地域の小中学校に在籍する肢体不自由のある児童生徒の教育を支援するため、学校訪問や車いす等の貸し出しも行っています。また、地域学校協働活動にも取り組み、特別支援学校が地域での役割を果たし、地域にどのように貢献していくのか、地域のリソースをどのように活かしていくのか等、地域コーディネーターと共に模索しながら進めています。

給食を中心とした食育教育

給食では、児童生徒の状態に合わせて、初期食から普通食までの5形態の食事を提供し、安心・安全を基本に食べる力を高めるための様々な工夫をしています。また、地場産野菜や旬の食材、行事食、郷土料理などを取り入れています。



*写真にはありませんが、どの形態にも牛乳200mlが付きまます。

各学部のまなび

小学部：「知る」

学校で初めて共に過ごす仲間との校外での活動を通し、「自分自身を知る」「仲間・教職員等の自分のまわりにいる人や物、環境を知る」ことを大切にします。

※授業及び学習集団

小学部は1・2年生、3・4年生、5・6年生の複学年で学習をしています。児童一人ひとりの実態や学習活動に応じて学習集団を工夫しながら体験的な学習を積み重ね、社会性を育てていきます。

中学部：「広げる」

小学部までの成長を踏まえて、高等部、そして社会生活に向けて、学びと経験を広げることを大切にします。生徒一人ひとりの学習や個別課題の状況に応じた集団で学習したり、中学部の生徒全員で学習したりすることで、さまざまな環境や人間関係で成長できるように環境設定をしています。

また、中学部では多くの子が思春期に入り、心と身体が大きく成長する時期です。家庭と学校で連携はもちろん、進路学習などを通して自分らしさと向き合い、生徒一人ひとりの状況に応じたキャリア発達を促していきます。

高等部：「広げる」から「深める」そして社会へ・・・！！

特別支援学校における学習の最終段階です。積極的な社会参加・自立を目指し、小中学部で培った学びをより深めます。高等部の先を見通し、共に卒業する学年の仲間との活動、学年を超えたグループでの活動を通して個々のニーズや希望に応じた進路指導の充実を図ります。

・Eグループ（当該学年の各教科等の学習中心）

学習指導要領に定められた各教科・科目を高等学校と同じ教科書を使用して学習します。その成果が、各教科・科目の目標に照らして満足できると認められた場合は、その各教科・科目について単位を修得したことを認定します。2年次から、「進学重点コース」と「総合コース」に分かれ、より進路を見据えた指導の充実を図ります。

・Fグループ（中学校の各教科の目標を取り入れながら、社会生活に必要な力を身につける教科学習中心）

一人ひとりの実態に合わせ、各教科の目標を基に基礎学力をじっくりと身に付けることを目標にします。生徒が自立し、社会参加するために必要な知識や技能、態度などを身に付け、実践することを重視した教育課程です。各教科での学習を中心に生徒が学ぶことと将来のつながりを関連づけながら主体的な進路選択を目指します。

・Gグループ（生活する力を高めるために、実生活の中から課題を設定した学習中心）

一人ひとりの能力を引き出し伸ばすことを目標に、実際の生活場面の中で生かすことができる知識や技能、態度などを身に付けることを重視した教育課程です。各教科や各教科等を合わせた指導を中心に生徒が自己の存在感を実感しながらよりよい人間関係を形成し、有意義な社会生活を送ることを目指します。

・Hグループ（社会参加に向けた必要な力を引き出す教育課程の学習中心）

学習指導要領に定められた自立活動の内容を中心とし、豊かな学校生活や日常生活、社会参加に向けた力を身に付けることを目標とする教育課程です。学習や学校生活を基盤として周囲の人とよりよい人間関係を築く力をつけることを目指します。



日課表

	A日課	B日課	C日課
	15:20 下校	14:05 下校	11:35 下校
登校・	9:00		
1時間目	9:10	9:10	9:10
朝の会	9:30	9:30	9:30
2時間目	9:40	9:40	9:40
3時間目	10:30	10:30	10:30
4時間目	11:20	11:20	11:20
給食・昼休み	12:10	12:10	
5時間目	13:10	13:10	
6時間目	13:55		
帰りの会	14:50	13:40	11:05
下校	15:20	14:05	11:35

時間割 (小学部)

令和8年度 小学部 時間割

小1・2年 (Ⅲ・Ⅳ類型)						小3・4年 (Ⅲ・Ⅳ類型)						小5・6年 (Ⅲ・Ⅳ類型)					
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
1	自活					1	自活					1	自活				
HR	朝の会					HR	朝の会					HR	朝の会				
2	自活/外国語	自活	自活	自活	自活	2	自活	自活	自活	自活/外国語	自活	2	自活	自活	自活	自活/外国語	自活
3	生活	自活	体育	音楽	図工	3	体育	音楽	自活	図工	生活	3	音楽	図工	道徳/総合	生活	体育
4	生活	道徳/自活	体育	音楽	図工	4	体育	音楽	道徳/総合	図工	生活	4	音楽	図工	学活	生活	体育
	給食						給食						給食				
5	遊びの指導					5	遊びの指導					5	遊びの指導				
	国語	算数	生活	自活	生活		国語	自活	生活	算数	生活		国語	自活	生活	算数	生活
6	国語	算数		学活		6	国語	学活		算数		6	国語	自活		算数	
HR	帰りの会					HR	帰りの会					HR	帰りの会				
小6年 (Ⅰ類型)																	
	月	火	水	木	金												
1	国語・算数・理科・社会・外国語																
HR	朝の会																
2	自活	自活	国語	社会	算数												
3	理科/社会	国/算/図工	道徳/総合	社会	算数												
4	音楽	図工	学活	外国語	体育												
	給食・自活・道徳・家庭科																
5	国語	家庭科	算数	理科	国語												
6	国語	算数		理科													
HR	帰りの会																

時間割 (中学部)

令和8年度 中学部 時間割

【I類型】						中1~3年【ⅢⅣ類型】					
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
I	R8なし					I	自活				
HR						HR	朝の会				
2						2	国語/自活	外国語/自活	自活	外国語	道徳/自活
3						3	国語/自活	保体	美術	数学/自活	音楽
4						4	自活	保体	美術	数学/自活	音楽
							給食・自活				
5	5	理社/生単	作業	自活	学活	自活					
6	6	理社/生単	作業		自活						
HR	HR	帰りの会									

時間割 (高等部)

令和8年度 高等部 時間割

Eグループ (高1)						Eグループ (2年)						Eグループ (3年)					
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
I	自活/体育					I	自活					I	自活				
HR	朝の会					HR	朝の会					HR	朝の会				
2	HR	総探	産社	歴史	科学	2	HR	総探	産社	歴史	科学	2	HR	総探	選択/産社	歴史	国語
3	歴史	国語	産社	数学I	自活	3	歴史	選択/職業	産社	保健	自活	3	歴史	選択/職情	産社	自活	自活
4	英語	数学I	産社	英語	自活	4	言語	保健	産社	言語	自活	4	基礎	国語	産社	基礎	自活
	給食・自活						給食・自活						給食・自活				
5	科学	保体	自活	家庭	自活	5	科学	保体	自活	家庭	自活	5	国語	保体	自活	家庭	自活
6	国語	保体		家庭		6	選択/職業	保体		家庭		6	選択/職業	保体		家庭	
HR	帰りの会					HR	帰りの会					HR	帰りの会				
							※選択：数Aまたは職業基礎						※選択：数IIまたは職業基礎				
Fグループ						Gグループ						Hグループ					
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
I	自活					I	自活					I	自活				
HR	朝の会					HR	朝の会					HR	朝の会				
2	HR	国語	職業	道徳/総探	社会	2	HR	国語/数学	音楽	国語/数学	自活	2	HR	美/音	生単	保体	作業
3	情報	数学	職業	自活	自活	3	国語/数学	美術	音楽	作業	生単	3	生単	美/音	美/音	保体	作業/国語
4	自活	自活/外国語	職業/家庭	数学	理科	4	自活	美術	自活	作業	生単	4	生単	自活	自活	自活	自活
	給食・自活						給食・自活						給食・自活				
5	美術	保体	自活	音楽	自活	5	保体	自活	自活	自活	自活	5	自活	数学	自活	国語/外国語	自活
6	美術	保体		国語		6	保体	外国語		国語/数学		6	自活	自活		自活	
HR	帰りの会					HR	帰りの会					HR	帰りの会				
	※火4選択：自活または外国語						※国語：数学の割合1：1						※水②③：隔週で2時間続き (生単・美/音)				

高等部卒業生進路先一覧

進路先 \ 卒業年度	R3	R4	R5	R6	R7	計
生活介護	10	23	15	12	14	74
地域活動支援センター（作業所型）	3	1	1	1	2	8
自立訓練（機能訓練）	0	0	0	0	0	0
自立訓練（生活訓練）	0	0	0	0	1	1
就労移行支援	3	2	2	2	0	9
就労継続支援（A型）	0	0	0	0	0	0
就労継続支援（B型）	1	1	1	0	3	6
職業訓練	0	0	0	0	0	0
一般就労	0	0	0	1	0	1
進学	1	0	0	1	3	5
その他	0	0	0	0	1	1
卒業生 計	18	27	19	17	24	105

主たる進路先です。多くの卒業生は複数の事業所を利用しています。同じ生活介護でも異なる事業所に通う卒業生や、生活介護と地域活動支援センター（作業所型）、生活介護と就労継続支援（B型）といったサービス内容が異なる事業所に通う卒業生もいます。複数の事業所に通う主な理由としては、本人・保護者の希望による場合と、事業所の受入れ状況により複数の事業所に通わざるを得ない場合とがあります。また通所開始後、進路変更をした（複数の事業所に通っていたが1つに変更した、別の事業所に変更した など）卒業生もいます。

学校へのアクセス

横浜駅西口バスターミナルより

- ①7番のりば 相鉄バス浜 83 系統「上菅田東部公園行」にて終点「上菅田東部公園」下車、徒歩1分。
- ②14番のりば 横浜市営バス 92 系統「急行笹山団地中央行」にて「寺下橋」下車、徒歩5分。
- ③8番のりば 相鉄バス「浜 13 羽沢経由上星川駅行」にて「七里堰」下車、徒歩6分。

上星川駅北口より

- ①ロータリー内「上星川駅」バス停より 相鉄バス「浜 13 羽沢経由横浜駅西口行」にて「七里堰」下車、徒歩6分。
- ②国道16号線出て左手「上星川」バス停より 横浜市営バス 92 系統「急行笹山団地行」、神奈中バス1系統「中山駅行」「緑車庫前行」にて、「寺下橋」下車、徒歩5分。

西谷駅北口より

国道16号線の歩道橋を渡り「西谷駅前」バス停より 横浜市営バス 129 系統「新横浜駅前行」にて「神保境」下車、徒歩3分。または 248 系統「笹山団地行」172 系統「鴨居駅行」にて「寺下橋」下車、徒歩5分。

新横浜駅バスターミナルより

2番のりば 横浜市営バス 129 系統「鶴ヶ峰駅行」にて「神保境」下車、徒歩3分。または「上菅田東部公園行」にて終点「上菅田東部公園」下車、徒歩1分。

※その他、横浜市営バス 124 系統（センター南～上菅田町～笹山団地中央）もあります。バスの本数が少ないものもありますので、ご利用の際はご確認ください。

本文の内容は、すべて令和8年4月1日現在のものです



